

# 2019年度 倉吉河川国道事務所の事業概要



天神川



三徳川



砂防ダム



山陰道



橋梁点検



雪対応

# 1-1 倉吉河川国道事務所の組織

## (1) 組織



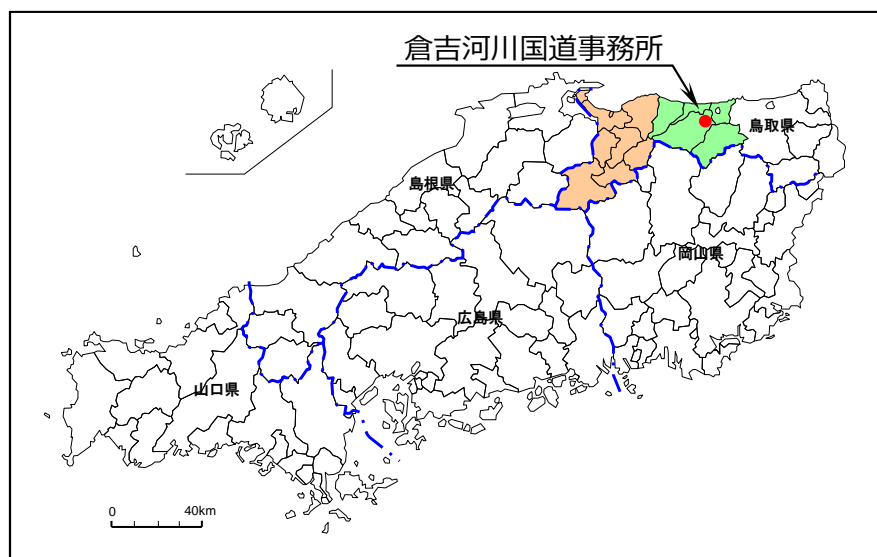
## (2) 人員 職員数 54名(うち、女性1名)

[事務19名(うち、女性1名), 技術35名] 平成31年4月1日現在

# 1-2 倉吉河川国道事務所の概要

## ■ 河川・道路の管理区間と直轄砂防事業区域

- 倉吉河川国道事務所は、鳥取県中部（倉吉市）に位置。
- 河川管理延長 約42km、砂防事業区域 約321km<sup>2</sup>、道路管理延長 約124km。



### ■ 河川管理区間

河川名	管理延長 (km)
てんじん 天神川	14.6
おがも 小鴨川	16.2
こう 国府川	8.9
みとく 三徳川	2.2
<b>合計</b>	<b>41.9</b>

### ■ 直轄砂防事業区域

支川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )
おがも 小鴨川	87.8
てんじん 天神川	150.8
みとく 三徳川	82.5
<b>合計</b>	<b>321.1</b>

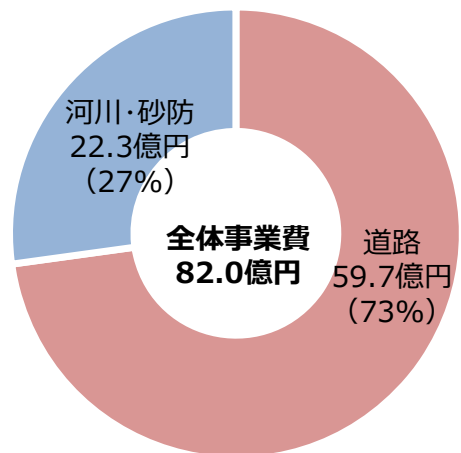
### ■ 道路指定区間

路線名	指定区間延長 (km)	起終点
9号	(56.0)	とっとりしあおやちようあおや よなごしいんだちよう (鳥取市青谷町青谷～米子市陰田町)
	124.4	とうはくぐんゆりはまちようこはま やすぎしきさちよう 東伯郡湯梨浜町小浜～安来市吉佐町
<b>合計</b>	<b>(56.0) 124.4</b>	※上段 ( ) 書きは山陰道延長 下段は山陰道を含む指定区間延長

# 1-3 倉吉河川国道事務所の概要

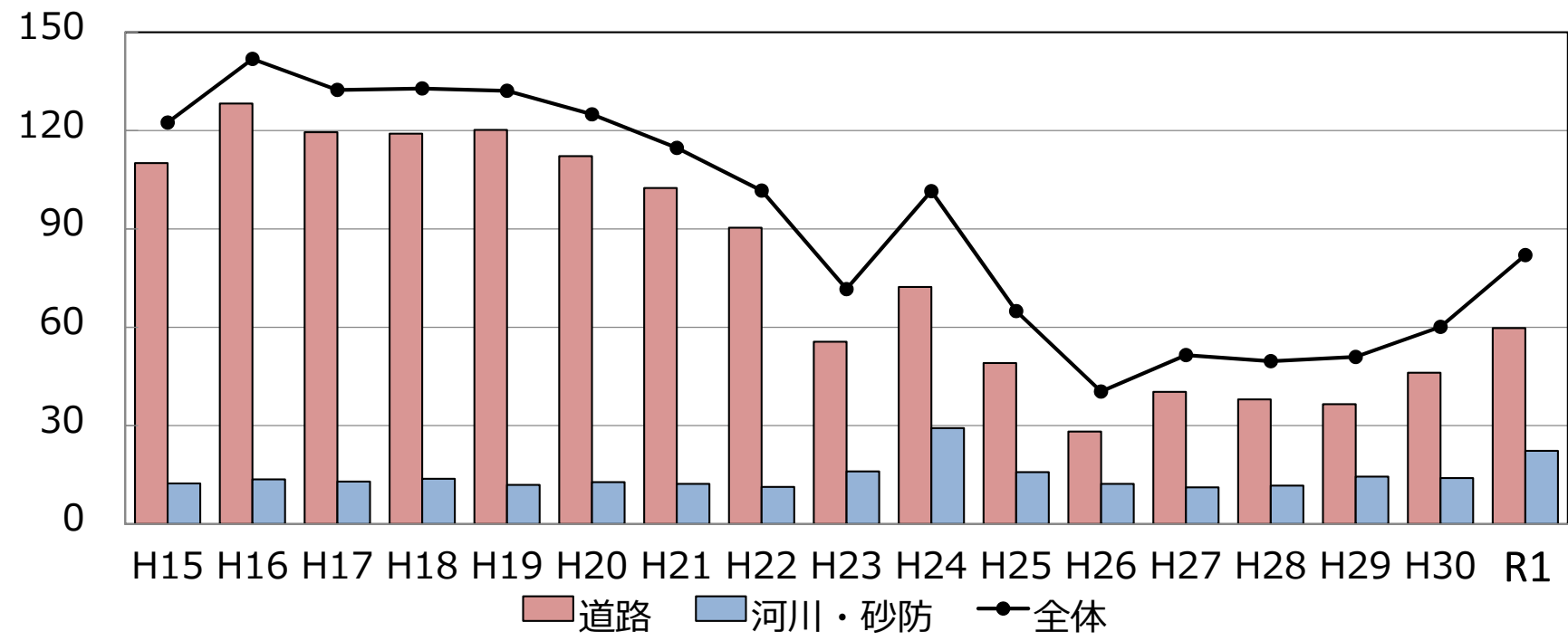
## ■ 2019(令和元)年度予算

事務所全体	約82.0億円	(対前年 1.36)
◇河川・砂防事業	約22.3億円	(対前年 1.59)
◇道路事業	約59.7億円	(対前年 1.30)



## ■ 事業費の推移

(単位：億円)



# 2-1 天神川の概要

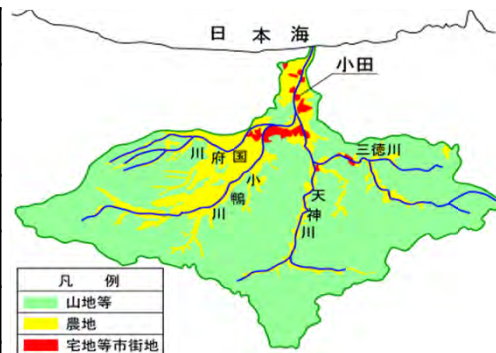
## ■流域人口・資産・土地利用

- 流域面積は490km<sup>2</sup>、天神川と主要な支川である小鴨川の合流点付近に鳥取県中部の中心地である倉吉市街地が広がっている。
- 流域内人口は約6万6千人、流域は山地面積が89%を占めており、小鴨川・国府川の下流域は市街地のほかに農地としての土地利用も多い。
- 中国地方の一級水系の中でも急流（河床勾配約1/1,000～160）で、倉吉市街地付近において小鴨川や三徳川が合流しており、洪水の流下時間が早いうえ、本支川の合流点で流れが集中するため、地形的に洪水が発生しやすい特徴がある。

### 流域概要

流域面積	490km <sup>2</sup>
幹川流路延長	32km
流域内人口	約6万6千人
想定氾濫区域面積	63km <sup>2</sup>
想定氾濫区域内人口	約5万9千人
想定氾濫区域内資産額	約9千億円
主な市町村	倉吉市, 三朝町

### 流域の土地利用

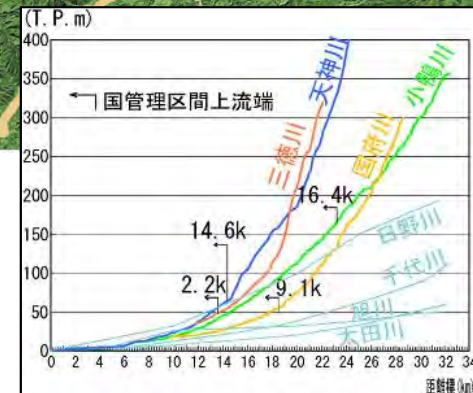


土地利用区分図

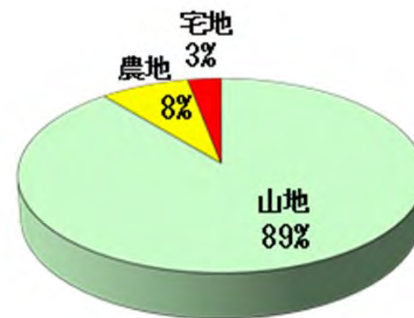
### 流域図



- ・流域は鳥が羽を広げたような形
- ・流域を2分する本川天神川と支川小鴨川が倉吉市の中心部で合流



天神川と中国管内河川の縦断面図



流域の約9割が山地

### 倉吉市街地の状況

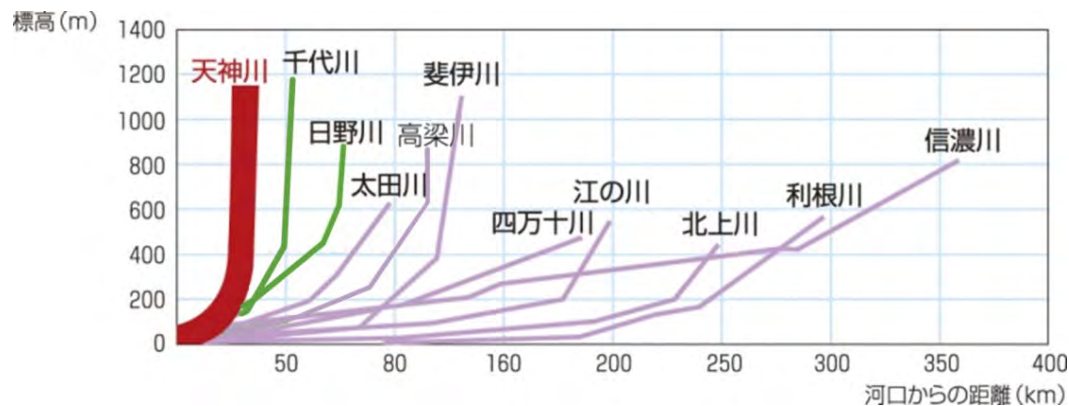


# 2-2 天神川の特徴

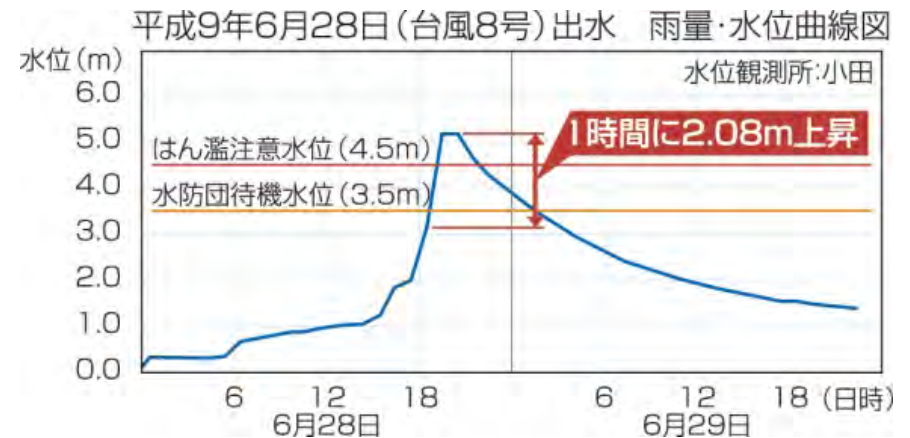
## ■天神川の特徴

- 天神川は他の一級河川に比べて急勾配なうえ、洪水時の河川水位は周辺の地盤より高くなっている。
- 流域の形状から洪水の流出が早く、また、ほぼ同じ流域面積を持つ本川天神川と支川小鴨川が倉吉市街地付近の平地で合流するため、大雨が降ると流出が重なり、合流点とその下流ではピーク時の流量が降雨と比較して大きな値を記録することがある。

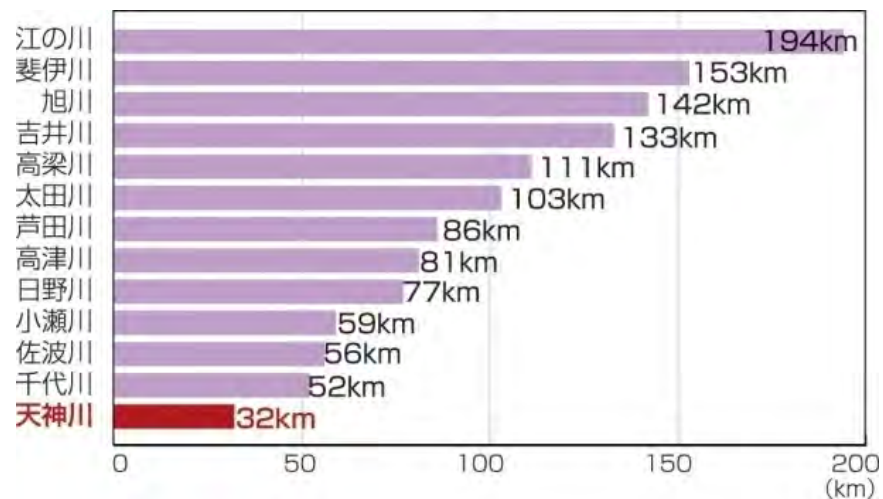
### 主要一級河川の河床勾配比較図



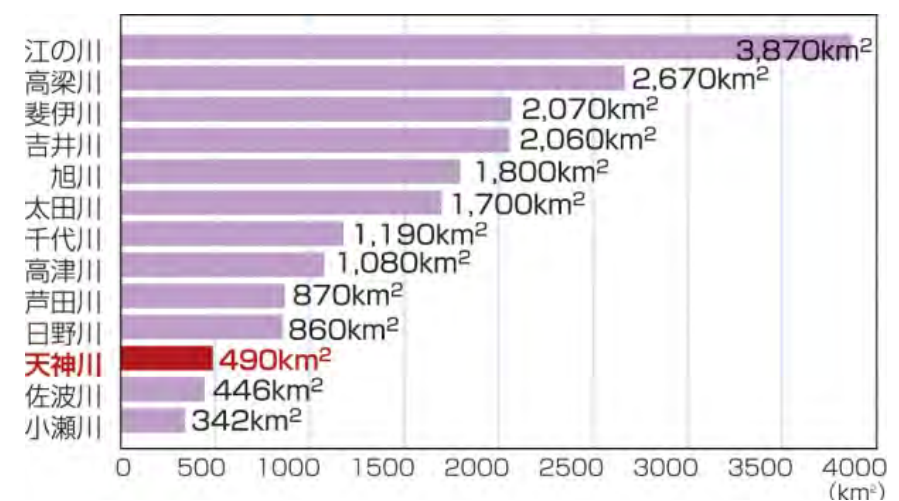
### 天神川の洪水時の水面の高さ



### 幹川流路延長 (中国地方で13番目)



### 流域面積 (中国地方で11番目)



# 2-3 天神川水系河川整備基本方針

倉吉河川国道事務所

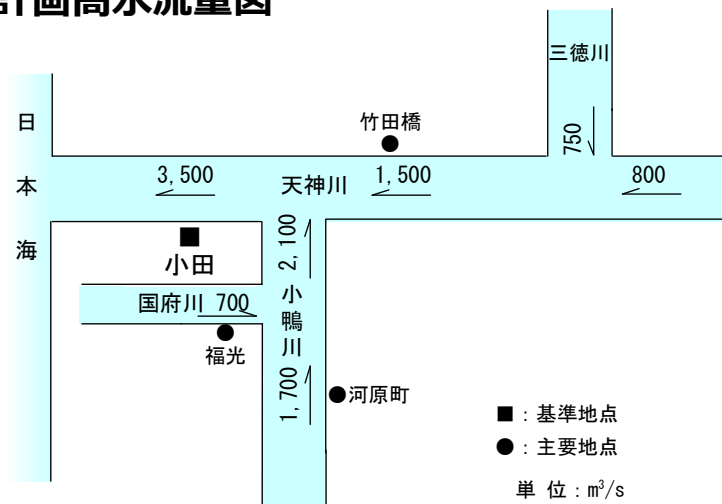
- 1934（昭和9）年9月の室戸台風の大災害が契機となり、同年12月に内務省天神川改修事務所（現在の倉吉河川国道事務所）が開設。
- 天神川水系の治水計画は、再び室戸台風の惨事を繰り返さないように、室戸台風の降雨相当を計画高水流量と定め、小田地点における計画高水流量を3,500m<sup>3</sup>/sとし、掘削、築堤を重点に改修工事を進め現在に至っている。
- 2006（平成18）年4月24日には、天神川水系河川整備基本方針が決定され、これに基づき段階的に整備する内容を定めた河川整備計画が2010（平成22）年3月5日に策定された。



## ■ 計画概要

水源地及び標高	鳥取県東伯郡三朝町大字大谷（津黒山 1,118m）
流域面積	490km <sup>2</sup> （山地450km <sup>2</sup> ，平地40km <sup>2</sup> ）
流路延長	幹川32km，支川小鴨川35km，支川国府川19km
大臣管理区間	幹川14.56km 支川小鴨川16.20km，支川国府川8.91km，支川三徳川2.2km 合計41.87km
計画高水流量	基準地点 小田（こだ） 基本高水流量 3,500m <sup>3</sup> /s 計画高水流量 3,500m <sup>3</sup> /s
計画流量改訂経過	小田地点 昭和9年決定 基本高水流量 3,500m <sup>3</sup> /s 計画高水流量 3,500m <sup>3</sup> /s
既往著名出水量	最大 小田地点 1934(昭和9)年9月21日(室戸台風) 3,500m <sup>3</sup> /s
事業経過	直轄第一期改修 1934(昭和9)年～1950(昭和25)年 工事実施基本計画 1968(昭和43)年2月8日 河川整備基本方針 2006(平成18)年4月24日 河川整備計画 2010(平成22)年3月5日

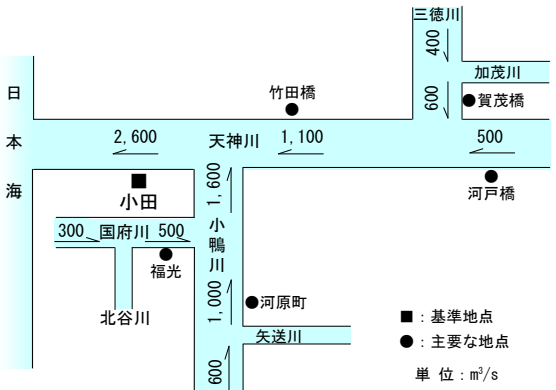
## ■ 計画高水流量図



# 2-4 天神川水系河川整備計画

- 天神川水系の河川整備計画は、2010(平成22)年3月5日に策定された。(1959(昭和34)の伊勢湾台風洪水に相当する洪水の安全な流下を目標)
- 目標規模は1/40、目標流量2,600m<sup>3</sup>/s(小田地点)、整備計画期間は概ね30年間。

## ■ 整備計画目標流量配分図



## ■ 治水に係る整備内容



## 河積確保

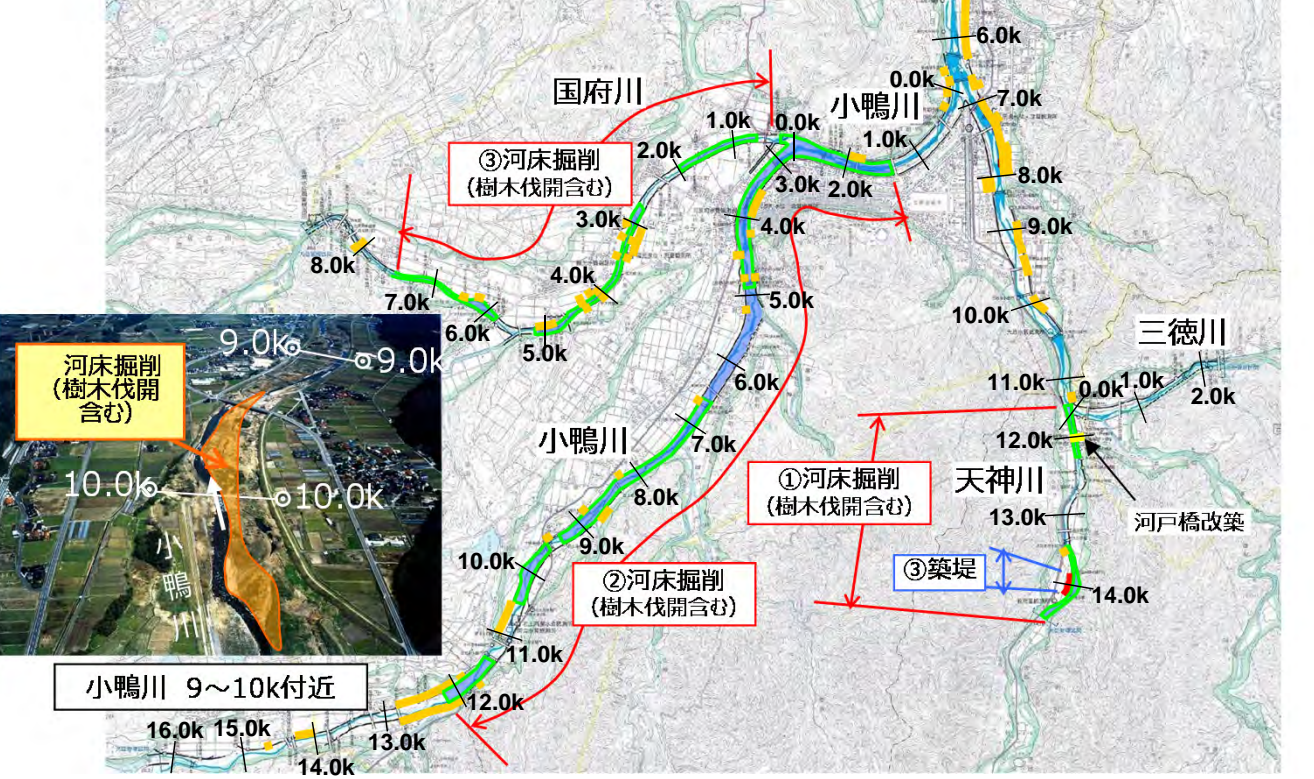
河積確保のための河床掘削(樹木伐開を含む)を実施する区間

No	地先名	区間	備考
①	若宮・本泉・牧・湯谷地先	天神川 11.3k~14.6k	樹木伐開を含む 河戸橋改築を含む
②	巖城・倉吉・生田・小鴨・大江・若土・生竹・大鳥居・耳・関金地先	小鴨川 1.4k~12.2k	樹木伐開を含む
③	国府・秋喜・三江・米積地先	国府川 0.0k~7.5k	樹木伐開を含む

## 堤防整備

■ 堤防の高さや幅の足りない区間の築堤を実施する

No	地先名	区間
①	北条地先	天神川 左岸 0.0k~0.6k
②	羽合地先	天神川 右岸 0.0k~0.6k
③	牧地先	天神川 左岸 13.8k~14.2k





## 2-5 河川改修事業の概要

こうがわ

### ■ 国府川安全な川づくり事業

さいがさきせき

- 天神川の支川国府川のオケ崎堰は、固定堰による洪水時の水位のせき上げや河川内に堆積した土砂等により河川整備計画の目標洪水に対し流下能力が不足している。
- このため、2018(平成30)年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、「国府川の安全な川づくり事業」として、河道掘削・樹木伐採及び堰の改修を推進します。
- 2019(令和元)年度は、河道掘削・樹木伐採及びオケ崎堰の改修を推進。

### ■ 事業箇所

くらしし よなづみ

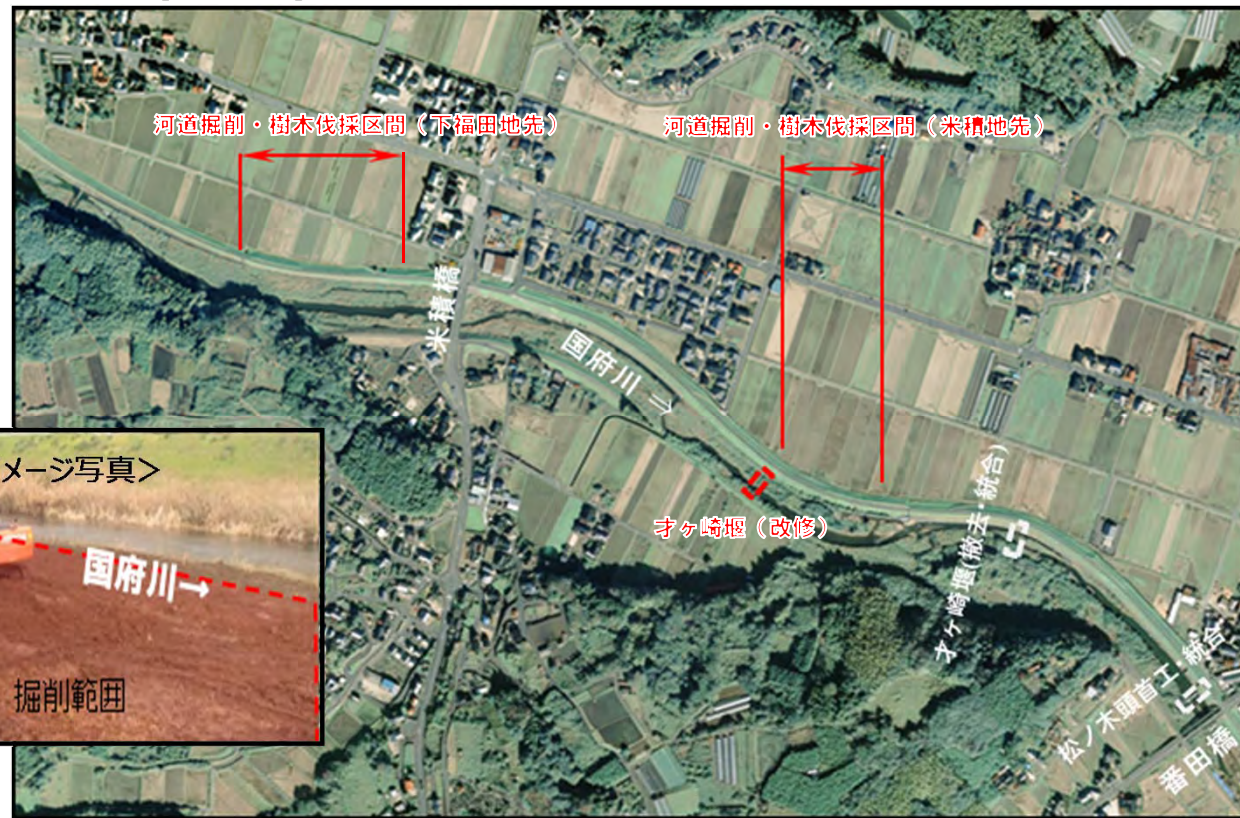
しもふくだ

鳥取県倉吉市米積地先、同市下福田地先

### ■ 期待される整備効果

河道掘削・樹木伐採及び堰の改修を実施することで、河川整備計画の目標である1959(昭和34)年9月洪水(戦後最大の洪水)が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害の防止が図られます。

### ■ 2019(令和元)年度事業実施箇所

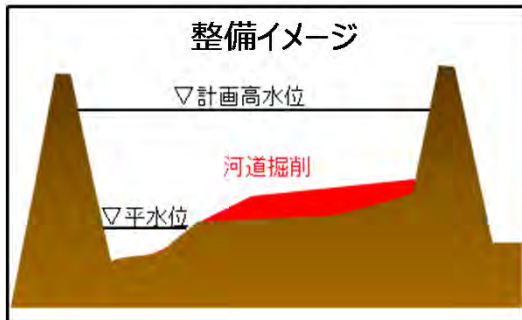


#### 整備イメージ

▽計画高水位

河道掘削

▽平水位



#### <河道掘削施工イメージ写真>



## 2-6 河川管理

- 河川は住民生活の中で様々な形で利用されている。（河川水は水道用水や農業用水、河川敷はスポーツ、散策、釣り等の住民憩いの場として利用されている。）
- しかし、ひとたび大雨の時に洪水が発生すると、住民の生命・財産等を脅かす恐ろしい存在となる。
- このような災害から住民の生命・財産等を守るために、また、適正な河川利用を維持するため、堤防をはじめとする河川構造物等の維持管理及び毎日の河川巡視を行っている。

### ■ 河川巡視

適正な河川管理及び河川管理施設の状態を確認するため毎日、河川巡視を行っています。



### ■ 堤防除草

堤防のひび割れや陥没などの異常を発見しやすくするために、定期的に堤防除草を行っています。



### ■ 水質調査

水質の実態把握のため、定期的な水質調査の他に、毎年夏季に天神川流域の小中学生に協力していただき、水生生物による水質調査を実施しています。

天神川と小鴨川は2018(平成30)年全国で水質が最も良好な河川(BOD0.5mg/l未満)となりました。



### ■ 河道内の樹木伐採

河道内の樹木については、河川の流下能力維持等を目的に、計画的に樹木伐採を行っています。

樹木の有効利用やコスト削減のため無償で配布したり、一般の方に伐採をして頂いたりしています。



### ■ 河川管理施設（平成30年度末現在）

河川名	管理延長	堰	水門	排水機場	排水樋門等
天神川	14.56km	-	-	-	13
小鴨川	16.2km	-	-	-	8
三徳川	2.2km	-	-	-	5
国府川	8.91km	-	-	1	12
合計	-	-	-	1	38



## 2-7 天神川流域の自然／交流

### ■水質事故対応

- 「天神川水系水質汚濁防止連絡協議会」等を開催し水質監視体制に関する連絡調整及び水質に関する情報交換を行っています。また、毎年水質事故訓練等を行い、事故発生時の迅速な対応・体制の充実に努めています。

### ■河川美化

- 河川環境の保全のため、洪水などで漂着したゴミを、収集し処理しています。また、地域住民の方々と一斉清掃などの河川美化に向けた活動を実施しています。



天神川一斉清掃の状況（平成30年度）

### ■天神川流域会議

- 天神川流域を流れる川を軸として、鳥取県中部圏の地域交流を活発化していこうと、2000(平成12)年12月に発足されました。
- 「ふるさとの川」を軸に、上中下流の交流を活性化し、地域の歴史・文化を活かした特色ある流域をつくるとともに、安全で潤いのある親しみやすい天神川をつくることを目的としています。
- 天神川流域観察会、天神川野鳥観察会、川とふれあう体験学習会、菜の花プロジェクト等の活動を実施しています。

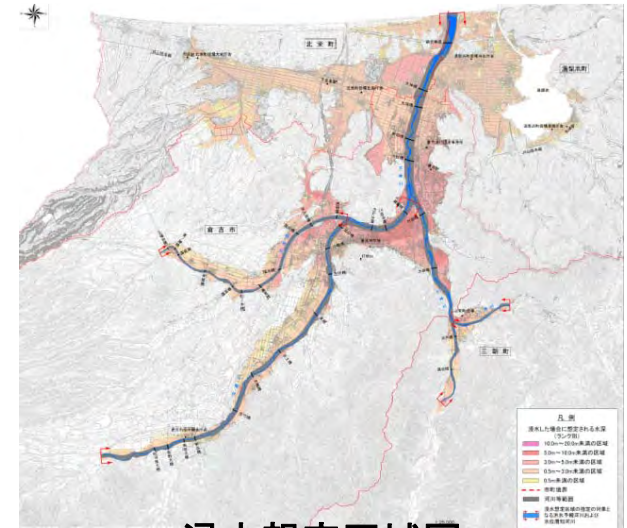


川とふれあう体験学習会の状況

## 2-8 洪水浸水想定区域図・重要水防箇所

### ■洪水浸水想定区域図

- 浸水想定区域図とは、「洪水予報河川」または「水位周知河川」について、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域や想定される浸水の深さ、浸水が継続する時間等を掲載した図面のことで、公表することで、水災による被害の軽減を図ることを目的としている。
- 天神川水系では、平成28年6月に浸水想定区域図を公表した。
- 次のHPに情報が掲載されている。  
「地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）」  
<http://suiboumap.gsi.go.jp/>



浸水想定区域図

### ■重要水防箇所

- 重要水防箇所とは、洪水に対して、リスク（決壊や漏水）が高い区間であり、水防上特に注意を要する箇所のこと。
- 倉吉河川国道事務所では、毎年出水期(6月10日)までに、沿川の自治体水防団とともに重要水防箇所を確認する合同点検を行い、出水に備えている。



合同点検の様子

### 重要水防箇所詳細位置図 1



重要水防箇所詳細位置図(抜粋)

出水期(6月10日～10月20日)とは、河川が増水しやすい時期をいい、天神川水系では、6月10日～10月20日までの期間が出水期となります。

# 2-9 河川の洪水予報／防災情報の提供

## ■ 水位情報について

### ➤ 河川水位観測所

#### 【目的】

「基準水位」への到達状況や、水位予測といった洪水情報の指標となる観測所。

#### 【観測の状況】

河川の水位変化を常時観測

#### 【情報提供サイト】

「川の防災情報」

<http://www.river.go.jp/kwabou/ipTopGaikyo.do>

### ➤ 危機管理型水位計

【目的】洪水時において、水位と堤防との差を提供しています。

【観測の状況】洪水時のみ、水位を観測

#### 【情報提供サイト】

「川の水位情報」

<http://k.river.go.jp/>



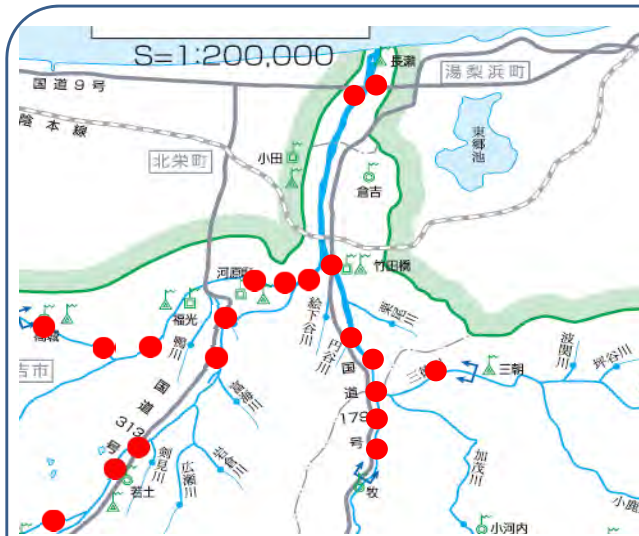
危機管理型水位計(洪水時のみ観測)

堤防から水があふれる  
までの残り高さ

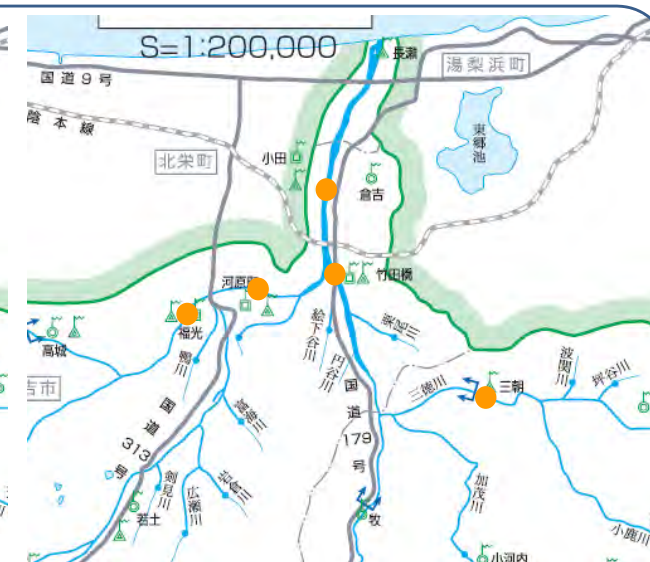
河川水位観測所(常時観測)

基準となる水位  
を常時観測

模式図：河川水位観測所と危機管理型水位計



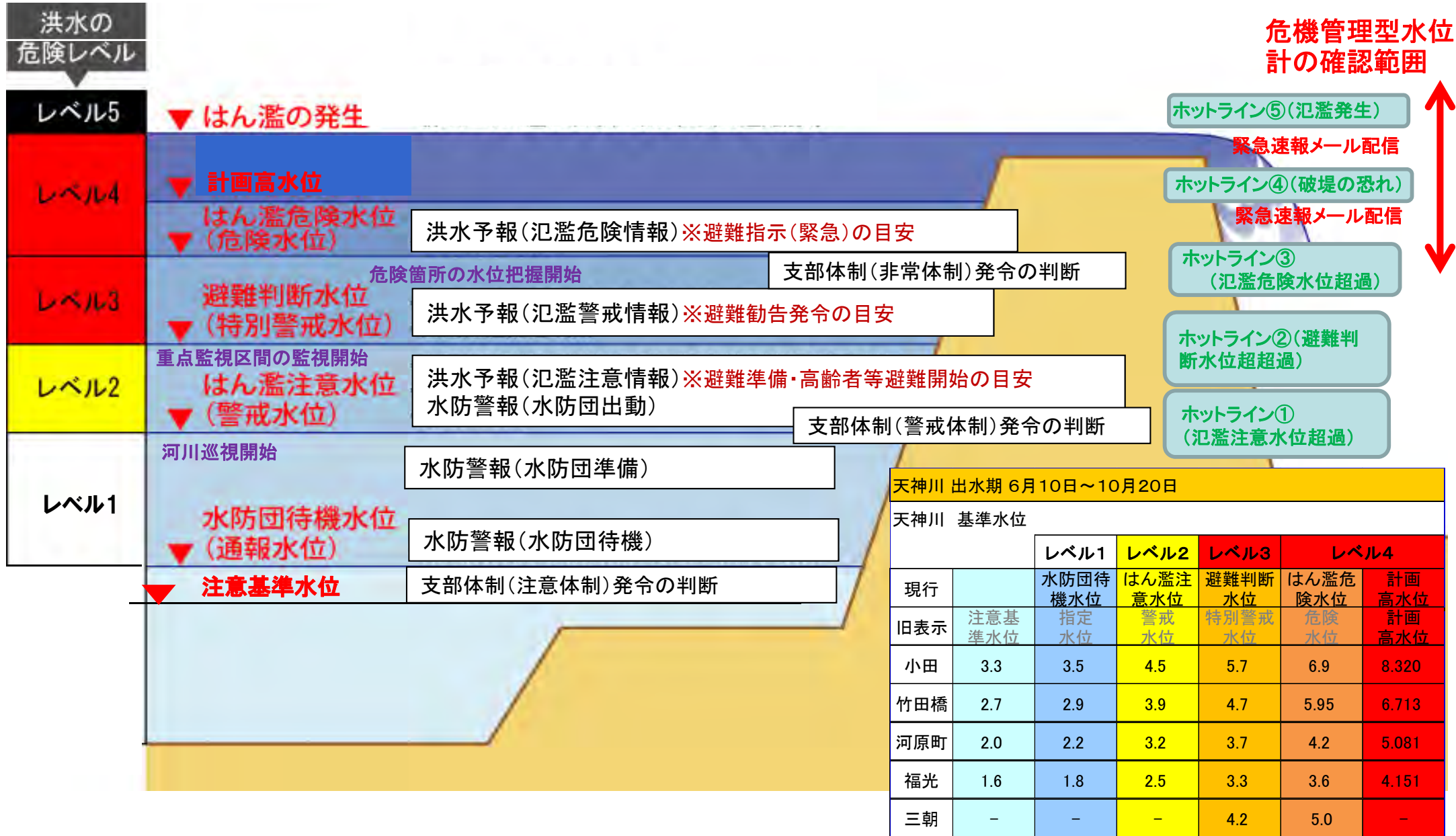
危機管理型水位計設置箇所  
(国土交通省20基)



河川水位観測所箇所  
(基準観測所 5基)

# 2-9 河川の洪水予報／防災情報の提供

## ■天神川水系における基準水位の概要



# 3-1 大山山系直轄火山砂防事業の概要1

## ■大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系砂防）の概要1

- 大山山系における天神川流域の砂防工事は本川筋を含む7溪流で1932(昭和7)年に鳥取県により農村匡救事業（不況による農山村救済事業）として開始された。
- その後、1934(昭和9)年9月の室戸台風を契機に、天神川改修工事が直轄で施工されることになり、引き続いて1936(昭和11)年6月に直轄砂防区域が告示され、被害の大きかった小鴨川筋において砂防工事が開始された。
- 1998(平成10)年10月の台風10号は天神川本川上流域(三朝町)に多大な被害を与えた。このため、2001(平成13)年1月から三朝町においても直轄砂防事業を実施することとなり、流域面積318.59km<sup>2</sup>で砂防堰堤、流木対策工、床固工、溪流保全工を実施している。

### ■砂防区域図



◀大山源頭部の崩壊状況

### ■過去の土砂災害



▲室戸台風(1934(昭和9)年)  
倉吉市関金町関金宿



▲台風10号(1998(平成10)年)  
東伯郡三朝町上西谷



▲台風10号(1998(平成10)年)  
東伯郡三朝町上西谷



▲台風10号(1998(平成10)年)  
東伯郡三朝町上西谷

# 3-2 大山山系直轄火山砂防事業の概要2

## ■大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系砂防）の概要2

- 小鴨川上流域には大山があり、その源頭部は地質が脆弱で荒廃が著しく、土砂生産・流出を頻繁に繰り返している。
- 天神川は鳥取県中部に位置し、中国山地の大山（弥山）と蒜山（津黒山）を源流とし、日本海に注ぐ流域面積490km<sup>2</sup>、幹線流路延長32kmの一級河川である。直轄火山砂防事業区域（天神川）は、大きく西部の小鴨川流域、東部の天神川流域に分かれる。
- 直轄火山砂防事業区域（天神川）の整備対象土砂量に対する進捗率は小鴨川流域が約50%、天神川流域については、10%程度という状況である。



大山山系直轄火山砂防事業区域（天神川）  
事業区域内の支川の諸元

支川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	主流路長 (km)	平均勾配
小鴨川	87.8	35km	1/40
天神川	233.3	32km	1/30

大山山系直轄火山砂防事業区域（天神川）の整備状況

	直轄着手年度	流域面積 (km <sup>2</sup> )	全体整備土砂量 (千m <sup>3</sup> )	整備土砂量 (千m <sup>3</sup> )	進捗率
小鴨川	S11年度	87.8	4,082	2,025	49.6
天神川	H12年度	233.3	7,332	727	9.9
直轄砂防計		321.1	11,414	2,752	24.1

整備土砂量の現況（平成29年度末時点）

大山山系直轄火山砂防事業区域（天神川）整備対象土砂量 <b>11,414千m<sup>3</sup></b>				
中期整備計画前	中期整備計画土砂量			残整備計画土砂量
	1,442千m <sup>3</sup> (27基)			
2,670千m <sup>3</sup> (38基)	短期整備土砂量	次期短期整備土砂量		7,302千m <sup>3</sup>
	643千m <sup>3</sup> (10基)	799千m <sup>3</sup> (17基)		
S11	H23 H24 H29	H33	H43	H53 H54
現況整備済土砂量				
2,752千m <sup>3</sup> (41基)				

中期整備計画（平成23年策定）

	整備堰堤基数
中期整備計画 (今後30年間、H24～H53)	27基 <3基>
うち短期計画施設 (概ね10年間、H24～H33)	10基 <3基>

※表中の<>内はH31年4月時点の完成堰堤数

中期整備計画（平成23年策定）

H31年度整備堰堤基数	※H31年度事業実施
27基 <5基>	(西尾砂防堰堤、六鴨4号砂防堰堤、大河原2号砂防堰堤)
10基 <5基> H31吉田、木地山完成	※H31堰堤補強実施 (清水谷5号砂防堰堤、小鴨2号砂防堰堤)
	※H31年4月時点で3基設計済 (栗祖谷砂防堰堤、下助谷砂防堰堤、矢送砂防堰堤)

※表中の<>内はR1年度末時点の完成堰堤数



# 3-3 天神川水系直轄砂防事業

## ■天神川水系直轄砂防の土砂災害対策

- 大山源頭部周辺は浸食されやすい地質のため、土砂災害が発生する可能性の高い地域であるため、土石流による直接の土砂災害や、土砂流出に伴う下流域での河床上昇による洪水氾濫を防ぐことを目的に事業実施している。
- 2018(平成30)年7月豪雨等の「近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、土砂・流木対策として透過型砂防堰堤の整備等を推進している。
- 2019(令和元)年度は、砂防堰堤の整備を推進。

## ■事業箇所

とうはくぐん みささちょう にしお

鳥取県東伯郡三朝町西尾地先外

## ■期待される整備効果

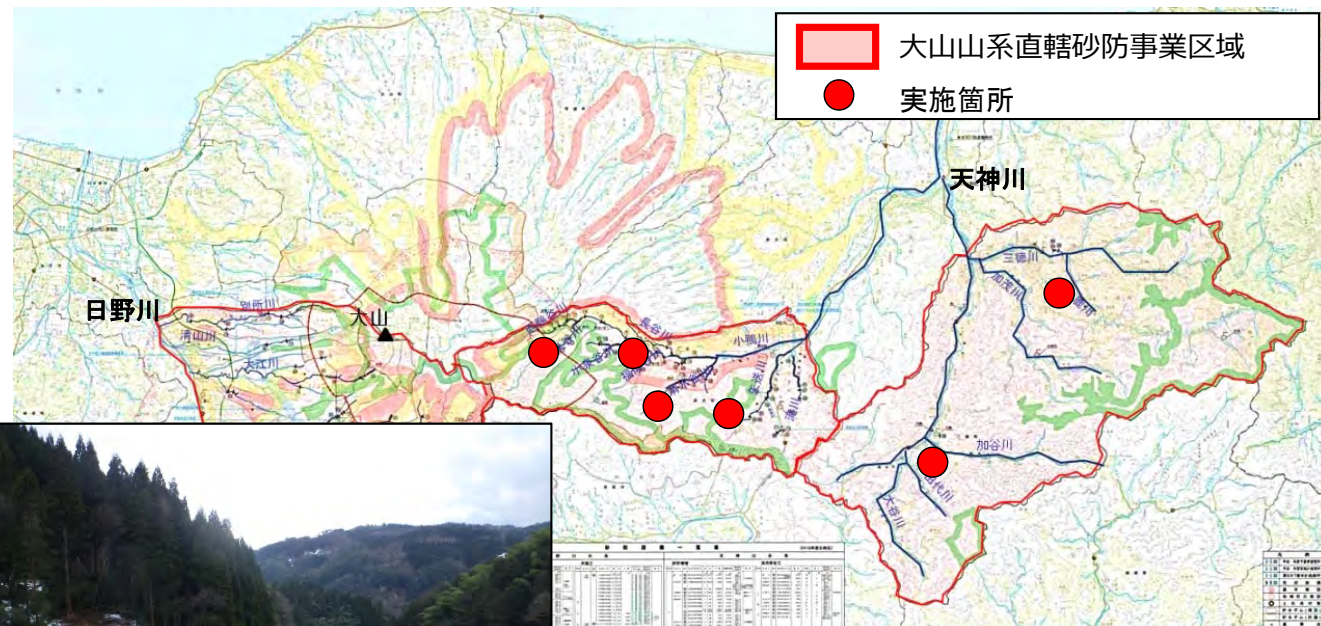
砂防堰堤等の整備により、土砂や流木を捕捉し、土石流による直接の土砂災害が防がれる。

また、天神川下流の市街地において、土砂流出に伴う河床上昇による洪水氾濫の防止・軽減を図る。



▲小泉2号砂防堰堤の土砂・流木補足状況  
(2011(H23)年9月出水時)

## ■2019(令和元)年度事業実施箇所



▲施工中の吉田砂防堰堤  
(2018(H30)年12月)

# 4-1 道づくりの取り組み

## ■山陰道の整備（広域的な交流・連携の促進）

- 山陰道は、鳥取県から山口県に至る約380kmの高速道路。
- この道路は、鳥取・島根・山口3県の主要都市を東西に結び、移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセスの強化を図ることにより、各地域間の交流・連携の強化及び推進、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興を目的として整備を進めている。
- また、災害に強い国づくりを推進し、更に活力ある地域社会を形成するために、地域の自立的発展を支援する視点からも重要な路線。

## ■鳥取県内の山陰道整備状況



# 4-2 山陰道の整備

## ■北条道路の整備

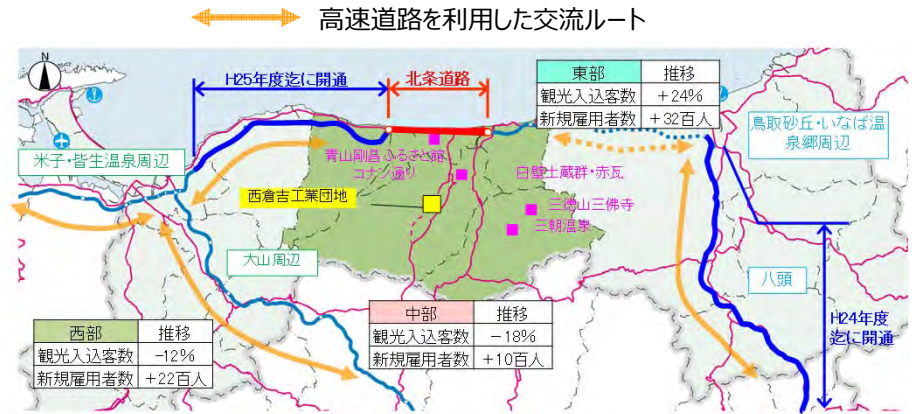
- 北条道路は、鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町槻下を結ぶ延長13.5kmの自動車専用道路で、鳥取県内最後の山陰道整備区間として2017(平成29)年度に事業着手。
- 2019(令和元)年度は、用地買収、道路設計、改良工事、橋梁工事等を推進。



## ■期待される整備効果

- ◆ 交通の適正な機能分担による安全性の向上
  - 通過交通と生活交通が分離され、安全で円滑な走行環境が形成される。
- ◆ 観光地の活性化・企業進出の促進
  - 観光周遊ルートが拡大し、鳥取県中部への観光客数の増大が期待される。
  - 時間短縮、定時性確保などにより、新たな企業誘致の促進と雇用の確保が期待される。

【鳥取県の観光・企業活動の変化 (H29/H18)】



(出典) 鳥取県観光入込動態調査 ※西部に境港周辺は含めない  
(出典) 鳥取県商工労働部、立地戦略課のヒアリング調査



◀写真①  
国道9号を通過する大型車

至 鳥取市



▲写真② 大栄東伯ICより鳥取市方面を望む

至 松江市

# 4-3 山陰道の整備

## ■米子道路の整備

- 山陰道 米子道路は、西伯郡大山町及び米子市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長14.2kmの自動車専用道路。
- 山陰道 米子道路の日野川東IC～米子南ICでは、渋滞による追突事故が集中的に発生しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、付加車線を設置する。
- 2019(令和元)年度は、橋梁工事等を推進。

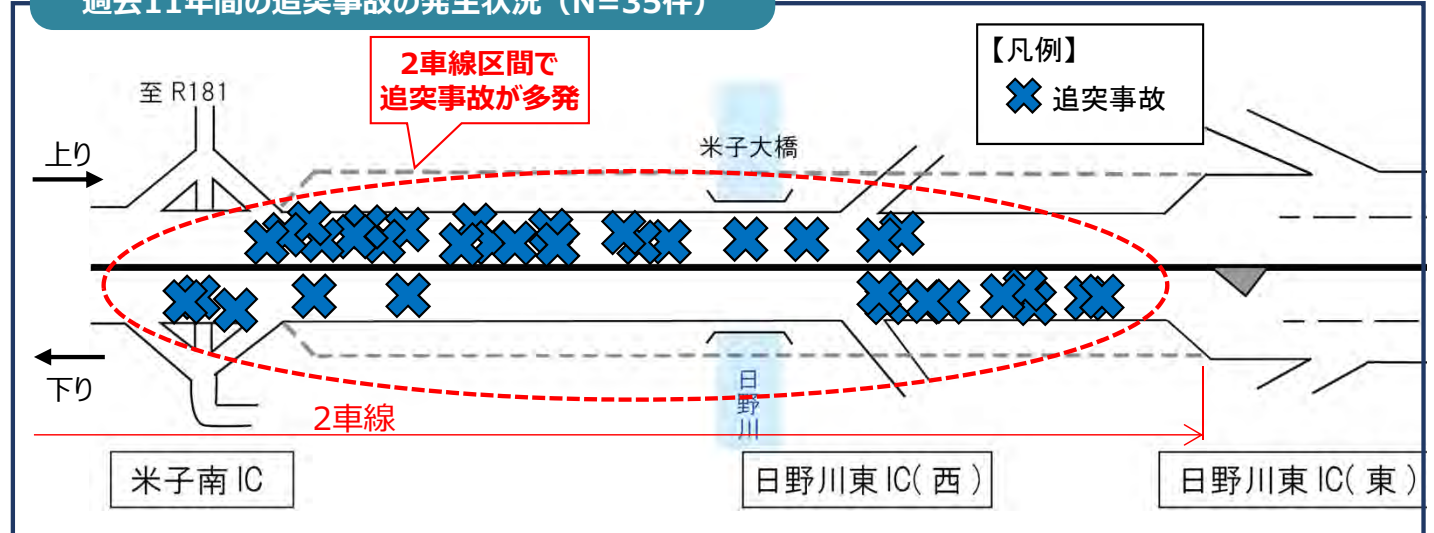
## ■2019(令和元)年度事業予定箇所



【写真①】米子南IC付近の渋滞状況

### 過去11年間の追突事故の発生状況 (N=35件)

資料：交通事故総合データベース(平成18年～平成28年)



# 4-4 安全・安心な暮らしを支える

## ■湯梨浜・北栄地区事故対策事業

- 国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間で、スピード超過しやすい区間となっており、長瀬浜入口交差点、新川・浜入口交差点、新旧国道313号との交差点で、信号停止車両への追突や右折車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しており、本事業はこれら2区間の交差点立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものである。
- 2019(令和元)年度は、北栄地区の調査設計、用地補償、橋梁工事等を推進。



出典：「地理院地図」を基に倉吉河川国道事務所作成



(撮影：2017年11月28日)



(撮影：2019年4月5日)

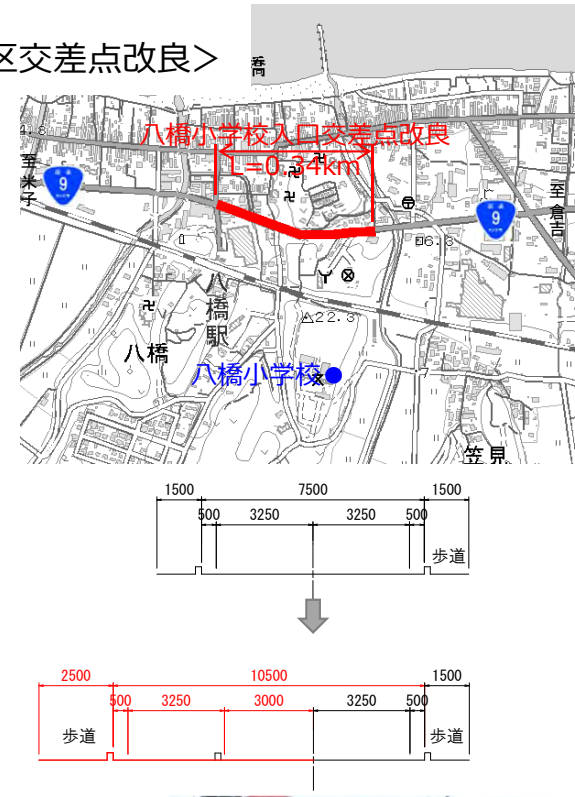
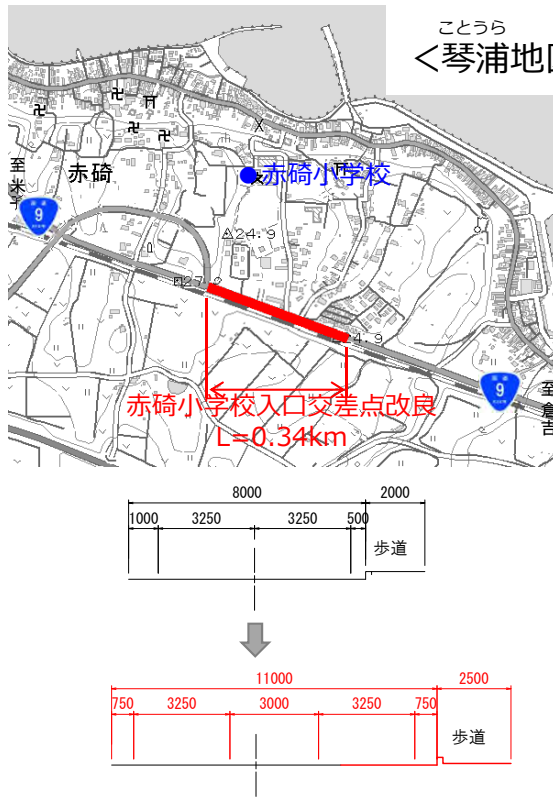
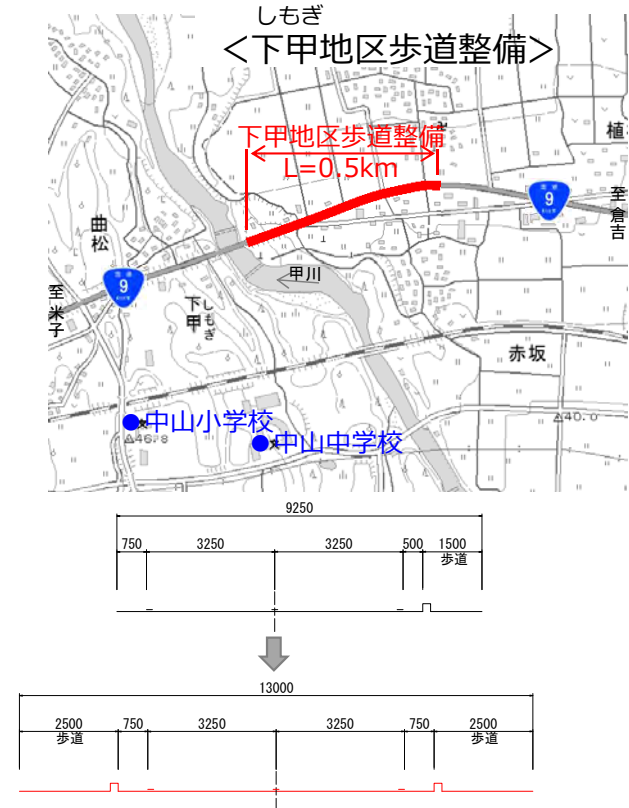


(撮影：2019年4月27日)

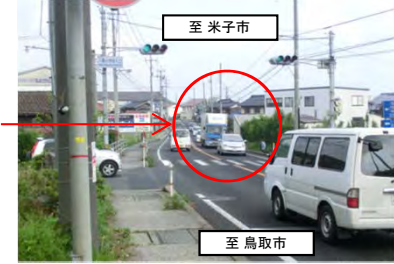
# 4-5 安全・安心な暮らしを支える

## ■交差点改良事業／歩道整備事業

- 一般国道9号に右折車線が無いいため右折待ち車両による直進車両の進行阻害や追突事故が発生している箇所、また、通学路に指定されているものの、歩道幅員が狭小であるため非常に危険な状況となっている箇所に、右折車線新設や歩道整備を行い、安全・安心な道路空間の確保を行う。
- 2019(令和元)年度は、調査設計、用地買収、工事を推進。



右折待ち車両による進行阻害

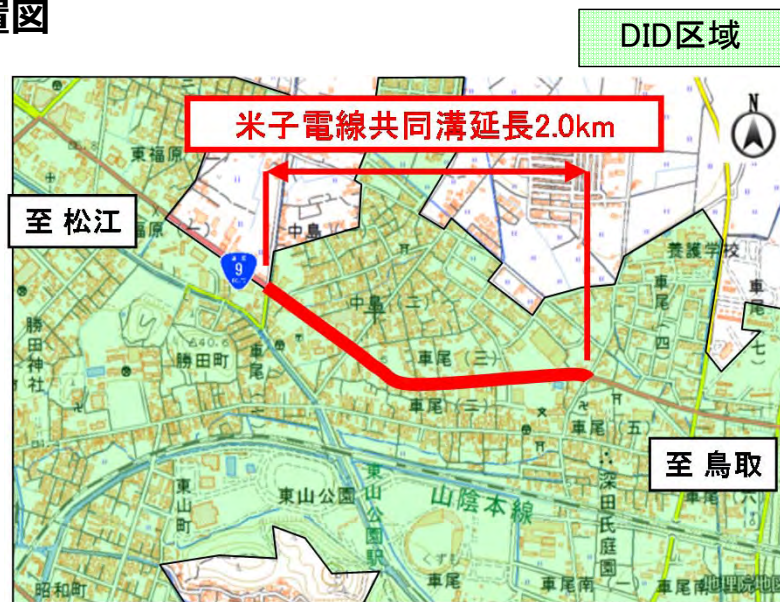


# 4-6 安全・安心な暮らしを支える

## ■米子電線共同溝事業

- 米子電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業である。
- 2019(令和元)年度は、調査設計を推進。

## ■位置図



出典：国土地理院「地理院地図(電子国土Web)」

## ■期待される整備効果

道路上から電柱がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行障害の危険性がなくなるため、災害時にも道路の機能が確保される。

また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の形成が期待される。

### 《整備の必要性(イメージ写真)》

- 道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

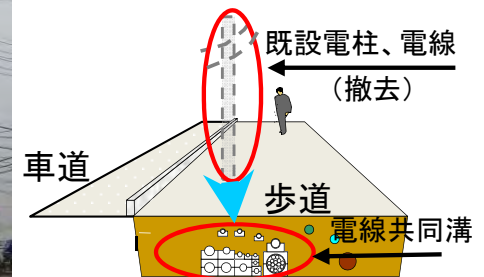


<歩行の支障となる電柱の事例>

### 【現況写真】



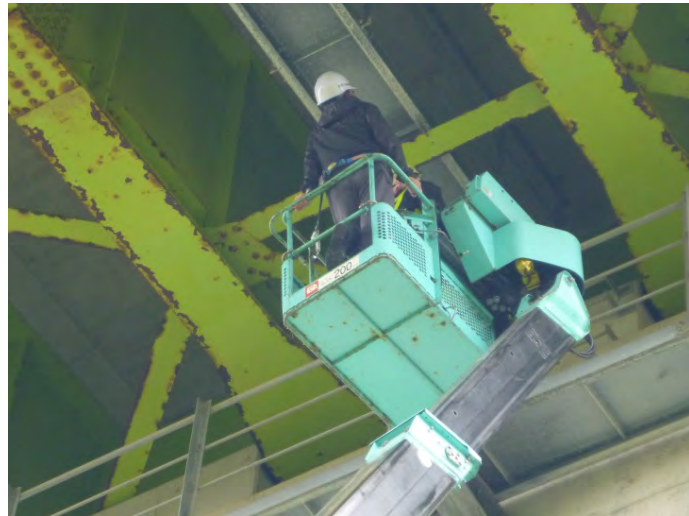
### 【イメージ図】



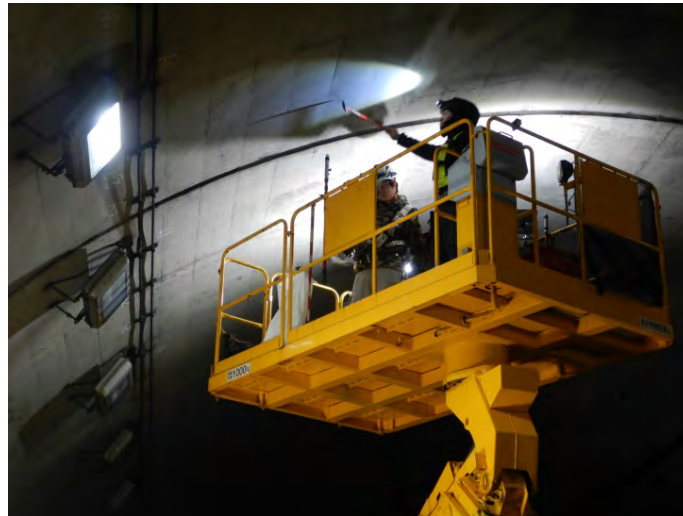
# 4-7 老朽化対策

## ■ 橋梁補修など

- 定期点検により橋梁、トンネルの状態を把握し、早期発見・早期補修の予防保全を計画的に実施し、安全性・信頼性の確保と橋梁のライフサイクルコストの縮減を図る。
- 2019(令和元)年度は、新天神橋などで橋梁補修工事を実施予定。



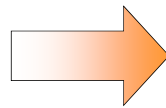
▲ 橋梁点検実施状況



▲ トンネル点検実施状況



▲ 橋梁点検講習会（自治体支援）実施状況 ▼



(塗装塗替)



# 4-8 道路管理

## ■ 道路の維持管理 一般国道9号及び山陰道（自動車専用道路）

- 一般国道9号は、京都市から山口県下関市に至る主要幹線道路です。当事務所では、鳥取県東伯郡湯梨浜町小浜（鳥取市境）～鳥取・島根県境までの国道9号 延長約124km（うち、山陰道延長約56km 鳥取市青谷町～米子市陰田町）を管理しています。
- 道路の整備をはじめ、維持・修繕・交通安全対策・環境対策などの取り組みを行っています。

## ■ 維持管理 作業状況



▲道路巡回における異常箇所等の発見



▲路面清掃車による路面清掃



▲路面（アスファルト舗装）の補修



▲植栽帯の剪定作業



▲除雪グレーダーによる除雪作業



▲異常時（大雨等）の応急作業

## ■ 道路緊急ダイヤル（#9910）のご紹介

道路の穴ぼこ、落下物や路面の汚れなど、道路の異常を24時間受け付けています。

- ・電話番号 全国共通#9910（24時間受付、無料）
- ・「#9910」をダイヤル後、自動音声ガイダンスにしたがって、番号を選択してください。
- ・担当機関へつながりますので、異常を発見された場所、状況などをお伝えください。
- ・運転中の通話は道路交通法により禁止されています。安全な場所に停車してからのご連絡をお願いします。

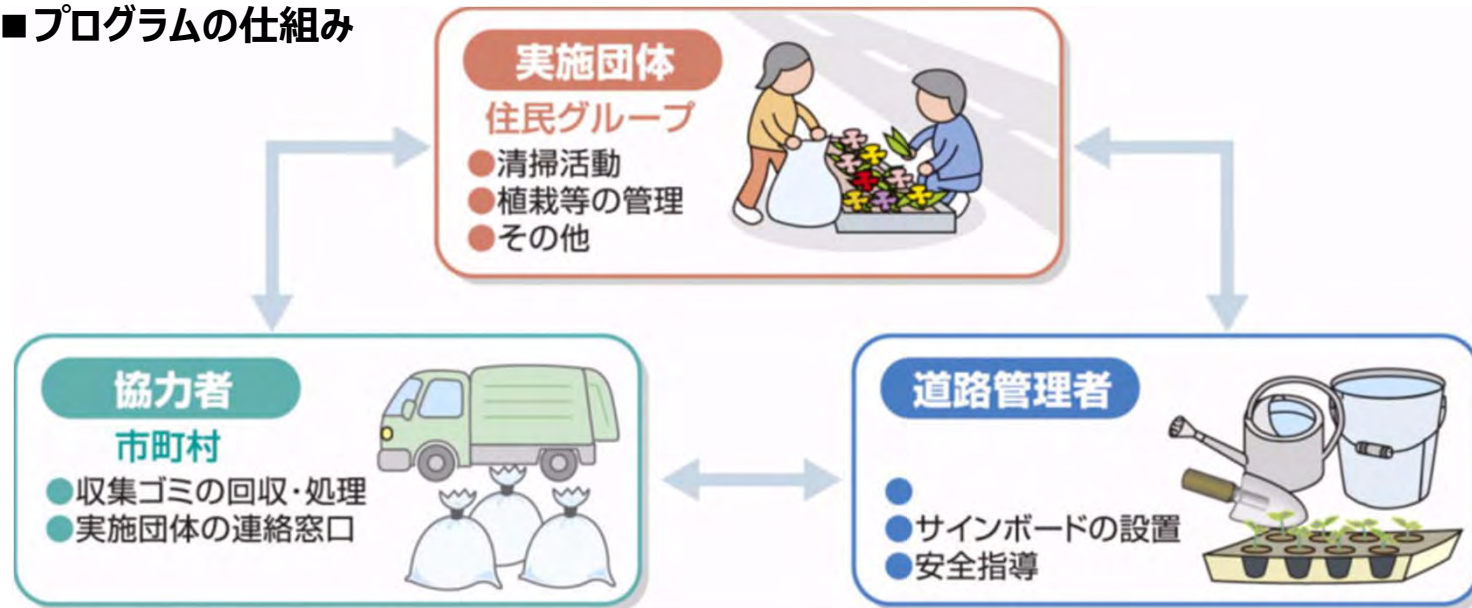


# 4-9 地域との協働

## ■ ボランティア・サポート・プログラム

- 「ボランティア・サポート・プログラム」とは、地域住民・地方公共団体・道路管理者が協力して道路の清掃美化活動を行い、道路への愛着を育てるとともに、道路利用者のマナー向上を啓発することを目的としている。
- 倉吉河川国道事務所管内では、2018(平成30)年3月時点で、36団体が積極的に活動を行っている。

### ■ プログラムの仕組み



▲ ボランティア・ロードin米子



▲ ボランティア・ロードくずも



# 4-10 『道の駅』による地域活性化

## ■『中部地域の活性化と「道の駅」の活用』について考える（2018(平成30)年度の取り組み）

- 一般市民と県中部地域 1市4町の職員が『中部地域の活性化と「道の駅」の活用法』について検討するワークショップを実施。
- 平成30年度は『自分たちで出来る事を実施にやってみよう！』をテーマに、「道の駅」の情報提供コーナーの様態替えを検討。（道の駅「はわい」と「琴の浦」の2箇所を題材に検討。）
- ワークショップで議論した成果を取りまとめ、題材とした2つの道の駅で実際に様態替えを試行。

### ワークショップ出席者

一般参加者  
倉吉市，三朝町，湯梨浜町，琴浦町，北栄町職員  
倉吉河川国道事務所  
コーディネータ  
地域づくりネットワーク代表 福田京子さん

### ワークショップのスケジュール

知る

#### 第1回ワークショップ (H30.9.29)

利用者目線で視察し、現状の問題点・課題を点検しよう！

学ぶ

#### 第2回ワークショップ (H30.10.20)

現地での点検内容を基に情報提供コーナーの活用アイデアを出そう！

考える

#### 第3回ワークショップ (H30.11.17)

第2回ワークショップでの検討内容を踏まえ情報提供コーナーのリニューアル計画を作ろう！

試行

#### 提案書取りまとめ (H31.2迄)

- ・ 検討内容を取りまとめ
- ・ H31.3末までに実際の情報提供コーナーで試行

### ワークショップの実施状況



参加者で「道の駅」を点検  
※道の駅「はわい」「琴の浦」を点検



ワークショップでは議論した事は最後に発表して共有



点検結果を基に情報提供コーナーの活用アイデアを議論



分かりやすく市・町ごとに  
パンフレットを配置



情報案内板の設置

3回のワークショップで作り上げた  
情報提供コーナーのリニューアル計画を試行

# 5 倉吉河川国道事務所・出張所のご案内

## 国土交通省中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町1-18  
 TEL (0858) 26-6221 (代表(総務課))  
 (0858) 26-6222 (経理課)  
 (0858) 26-6223 (用地課)  
 (0858) 26-6224 (工務第一課)  
 (0858) 26-6227 (工務第二課)  
 (0858) 26-6248 (調査設計第一課)  
 (0858) 26-6229 (調査設計第二課)  
 (0858) 26-6237 (河川管理課)  
 (0858) 26-6239 (道路管理課)

FAX (0858) 26-6299 (代表)

ホームページアドレス>><http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>  
 Eメールアドレス >>kurayosi@cgr.mlit.go.jp



事務所・出張所 位置図



### 天神川出張所

〒682-0803 鳥取県倉吉市見日町123  
 TEL (0858) 23-6551  
 FAX (0858) 23-6553



### 羽合国道維持出張所

〒682-0721 東伯郡湯梨浜町田後299-1  
 TEL (0858) 35-3231  
 FAX (0858) 35-3233



### 羽合国道維持出張所

西部分室  
 〒689-3326 西伯郡大山町安原795  
 TEL (0859) 56-5212  
 FAX (0859) 56-5228

